

会 場

仁愛女子短期大学

特例教科目

「子ども家庭支援論」2単位

幼稚園教諭免許状を有する者の**保育士資格取得特例コース**

<b>子ども家庭支援論</b> ( Child and Family Support )		<b>担当教員</b>	<b>賞雅 さや子</b>
<b>会場</b>	<b>単位</b>	<b>講習日</b>	<b>開講形態</b>
仁愛女子短期大学	2単位	令和元年8月9日(金) 令和元年8月10日(土) 令和元年8月22日(木) 令和元年8月23日(金)	講義

**関連免許・資格等**

特例教科目の場合のみ保育士資格取得の必修科目とする。

**I. 授業の内容**

**1. 授業の概要**

本特例教科目では、保育士資格取得に必要な「子ども家庭支援論」「子育て支援」の2教科から、「子ども家庭支援の意義・役割」や「多様な支援の展開と関係機関との連携」「保育士による子ども家庭支援の基本」など幼稚園等の勤務経験では得られない内容を中心に学び、実際の支援に必要な知識や技術を習得する。

**2. 授業の到達目標**

1. 「家族」「家庭」の機能や役割、子育て家庭を取り巻く社会状況を理解し、必要な支援について説明できる。
2. 子育て家庭のニーズに応じた支援の展開や体制について説明できる。
3. 保育所の特性と保育士の専門性を生かした支援について説明できる。

**3. 授業の計画**

補足説明、事前・事後の自主学習について

第1回：「家族」「家庭」について

第2回：保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義

第3回：子育て家庭に対する支援のための社会資源と施策

第1回～第3回に関する小課題提出

第4回：保育士が行う子育て支援の特性

第5回：子育て支援における基本的な視点

第6回：保護者との信頼関係を築くかかわり方

第4回～第6回に関する小課題提出

第7回：子ども家庭支援の内容と対象

第8回：保育所における家庭への支援

第9回：地域の子育て家庭への支援

第10回：子ども虐待のある家庭への支援

第11回：障害のある子どもの家庭への支援

第7回～第11回に関する小課題提出

第12回：支援の展開過程、計画、記録、評価

第13回：関係機関・専門職との連携

第14回：保育所において特別な対応を要する家庭への支援

第15回：児童福祉施設における家庭への支援

第12回～第15回に関する小課題提出

**4. 教科書、参考図書、教材、準備物等**

教科書：『保育士資格取得特例教科目テキストシリーズ 子ども家庭支援論』「子ども家庭支援論」編集委員会、みらい、2019年

**5. 担当者からのメッセージ**

教科書は各自準備すること。

**II. 評価の方法**

単位認定試験

試験を行わず提出課題により評価する。

評価の配点比率

提出課題(各25%)×4回

備考

会 場

仁愛女子短期大学

特例教科目

「保健と食と栄養」 2単位

幼稚園教諭免許状を有する者の**保育士資格取得特例コース**

保健と食と栄養 (Health and Nutrition Science for Child)		担当教員	齊藤正一 木内貴子
会場	単位	講習日	開講形態
仁愛女子短期大学	2 単位	令和元年 8 月 20 日(火) 8 月 21 日(水) 8 月 26 日(月) 8 月 27 日(火)	講 義
<b>資格・免許の要件</b>			
特例教科目の場合のみ保育士資格取得の必修科目とする。			
<b>授業の内容</b>			
<p>子どもの「こころとからだ」について、成長と発達、出生前から成人に至る心身の変化、身体各部の様子、生活全般に関する「健康な子ども」を理解する。その後、これらを踏まえて子どもの健康を脅かす問題などの対処法を習得する。</p> <p>子どもの発育・発達や栄養の特性を理解し、健やかな成長をめざす栄養法や援助の仕方についての知識を習得する。</p> <p>※本科目は、2名の教員によるオムニバス形式となっています。それぞれの回に教員名を記載しています。</p>			
<b>授業の到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>健康な子どもがどのような存在かを理解する。</li> <li>健康と傷病に関して、子どもと成人との違いをその背景までさかのぼって理解する。</li> <li>身につけた子どもに接する際に必要・有用な知識を、保護者などの他者に説明することができる。</li> <li>子どもの発育・発達や栄養の特性を理解し、子どもの健全な食生活や栄養の基礎知識を習得する。</li> <li>食育活動のあり方や、子どもの心身の状態、食生活上の問題に配慮した支援の方法を理解する。</li> </ol>			
<b>授業の計画</b>			
第 1 回	子どもの健康、成長と発達。出生に至るまで。	(齊藤)	
第 2 回	成長のようす	(齊藤)	
第 3 回	発達のようす	(齊藤)	
第 4 回	自我と社会性	(齊藤) 試験	
第 5 回	小児の健康トラブル一般	(齊藤)	
第 6 回	出生と生後発育にともなうトラブル	(齊藤)	
第 7 回	事故とケガ	(齊藤)	
第 8 回	小児期特有の病気(疾患)	(齊藤) 試験	
第 9 回	子どもの健康と食生活	(木内)	
第10回	栄養・食に関する基礎知識	(木内)	
第11回	子どもの発育・発達と栄養・食生活	(木内)	
第12回	食育の基本	(木内)	
第13回	児童福祉施設や家庭における食事と栄養	(木内)	
第14回	特別な配慮を要する子どもの食と栄養	(木内)	
第15回	食生活の現状と課題	(木内) 試験	
<b>成績評価方法</b>			
<p>2名の教員の担当部分をそれぞれ 50%とし、それらの合計で評価する。</p> <p>(齊藤)前半(1-4 回)、後半(5-8 回)の各終了後、試験(資料利用可、筆記試験と口頭試問併用、50 点満点)を行う。</p> <p>(木内)第 15 回目終了後に第 9 回から第 15 回の試験(資料利用可、筆記試験、50 点満点)を行う。</p>			
<b>成績評価基準</b>			
<p>(齊藤)「健康な子ども」、「子どもと大人の違い」に関する具体的知識、その理解度を測る。次いで、言葉によってそれらを説明する能力をみる。</p> <p>(木内)子どもの発育・発達や栄養の特性を理解し、子どもの健全な食生活や栄養の基礎知識を習得したか。 食育活動のあり方や、子どもの心身の状態、食生活上の問題に配慮した支援の方法を理解したか。</p>			

**テキスト、参考図書**

(齊藤) 参考書: 巷野悟郎(編)『子どもの保健』7版追補 診断と治療社 2018

テキスト: プリント配布

(木内) 参考書: 岩田章子、寺嶋昌代(編)「新版 子どもの食と栄養」(株)みらい 2018

テキスト: プリント配布

**その他(受講上の注意)**

(齊藤) プリントを配布します。試験への持ち込み資料は、参考書・プリントのほか、何でも可とします。

(木内) プリントを配布します。試験への持ち込み資料は、参考書、配布プリント、ノート。